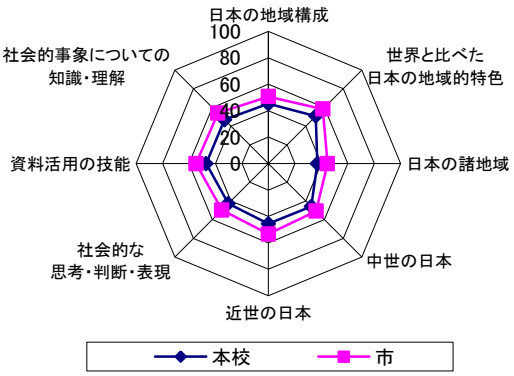
# 宇都宮市立国本中学校 第２学年【社会】領域別／観点別正答率

## ★本年度の市と本校の状況

| | | 本年度 | |
|---|---|---|---|
| | | 本校 | 市 |
| 領域別 | 日本の地域構成 | 45.3 | 50.7 |
| | 世界と比べた日本の地域的特色 | 50.7 | 58.2 |
| | 日本の諸地域 | 37.1 | 44.6 |
| | 中世の日本 | 46.0 | 51.0 |
| | 近世の日本 | 45.5 | 53.3 |
| | | | |
| 観点別 | 社会的な思考・判断・表現 | 42.9 | 49.8 |
| | 資料活用の技能 | 47.1 | 54.7 |
| | 社会的事象についての知識・理解 | 46.8 | 53.9 |
| | | | |




## ★指導の工夫と改善

| 領域 | | 本年度の状況 | 今後の指導の重点 |
|---|---|---|---|
| 地理 | 日本の地域構成 | 全体として市の平均より5．4ポイント低い。地図上から読み取ったことを記号で選択し、文章の空欄を埋める問題については、市の平均よりも高い。しかし、海に面していない都道府県を組み合わせる問題に関しては、市の平均を13.9ポイント下回っており、日本の都道府県がどこに位置するのか、また各県の県庁所在地名について身についていない。 | ・資料を読み取り、判断する力が不足している。教科書や資料集を活用し、グラフの変化や地図から読み取れることを表現する力を身につけたい。<br><br>・都道府県の位置や県庁所在地などの理解については小テストなどを繰り返し行い、定着をはかっていく。 |
| | 世界と比べた日本の地域的特色 | 全体として市の平均よりも7.5ポイント低い。日本の人口ピラミッドを選択する問題に関しては市の平均よりも高かったが、グラフの内容を読み取る問題では正答率が低く、資料の活用能力に課題が残る。 | |
| | 日本の諸地域 | 全体として市の平均よりも7.5ポイント低い。特に地図を比較し、土地利用の変化を読み取る問題が正答率が低く、資料の活用能力に課題が残る。 | |
| 歴史 | 中世の日本 | 全体として市の平均よりも5ポイント低い。日明貿易の説明に関する問題は市の平均を上回ったが、文化の特色や歴史の流れなどが把握できていない。 | ・歴史の流れを整理するために、授業の始めに小テストを行うなどし、知識の定着をはかる。また、ワークなどを計画的に取り組むようにさせ、家庭での学習習慣を身につけさせる。<br><br>・年表の読み取りかたや歴史的事象の説明に関しては授業を通し、年表の作成や文章での説明などを行える力を身につけさせる。 |
| | 近世の日本 | 全体として市の平均よりも8.7ポイント低い。特に打ちこわしのグラフを読み取り、説明を選択する問題に関しては市の平均を多く下回っており、歴史的分野においても資料を活用する力が身についていない。また、江戸時代に出された法令や規則についても内容が身についておらず、年表の空欄を補充する問題では市の平均を大きく下回っている。 | |
| | | | |